

長松小学校学校だより

R4年5月2日発行

えがお いっぱい 15号

「限定」より「肯定」へ

心が温くなる出来事がありました。本校児童との会話です。

前日に「ふしょくふマスク」をお願いするメールを配信しました。夕方、私に保護者様より電話がありました。内容は「ふしょくふマスクでなく、布マスクで登校させたい」というご相談でした。きちんと理由もお聞きしました。お電話の後に感染を広げたくないというあまり、限定した「これしかない」という情報をだした自分を後悔しました。さまざまな理由で「良さはわかってもしできない方がいらっしやること」を忘れてはいけない・・・と思いました。

当日、いきなりその場面はおとずれました。児童玄関で帰りを見送る私に「校長先生！」と話しかける児童がいました。「昨日はありがとうございます！おかげで布マスクしています。」笑顔であいさつをしてくれました。

心がとても温かくなりました。同時に「これしかダメではなく、視野を広くもたなくては・・・」の想いを強く持ちました。児童の笑顔に救われました。「こちらこそ、わざわざ声をかけてくれてありがとう。」笑顔で返しました。

「限定」するのではなく「肯定」しながら、笑顔いっぱいの長松小にしたい、あらためてその想いを持ちました。

中庭の訪問者
イソヒヨドリ



瑠璃色の鳥で朝すてきな声で歌っています



クラス目標が決まってきたようです。温かいクラス作りはじまりました。

